

# 大学におけるBI (Business Intelligence) 活用

## 話題提供資料

**MRI** 株式会社三菱総合研究所

－ ご利用に際して －

- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱総合研究所と明記してください。
- 本資料の全文または一部に関する無断での複製・転載・転送等をご遠慮ください。

# はじめに

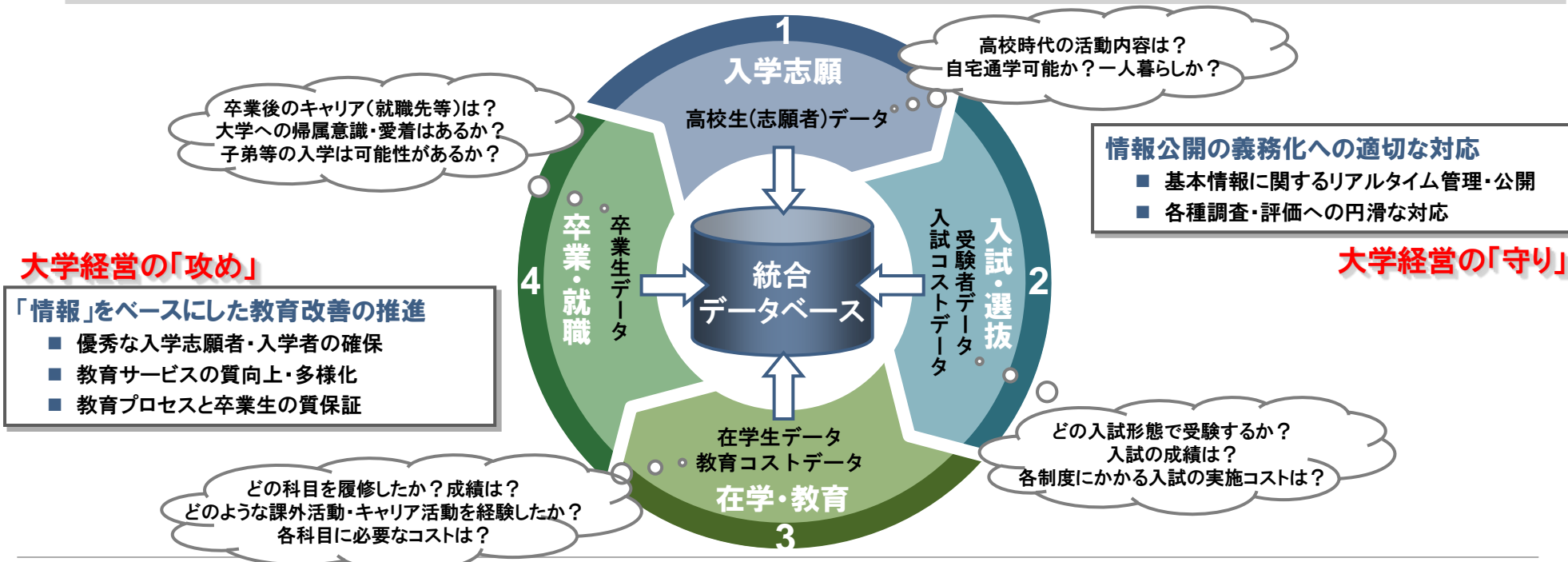
## ▶ 「情報」を教学リソースの中心に位置付け、「攻め」「守り」の両面で利用価値を最大化

大学と取り巻く環境は厳しさを増す中、大学間の競争は正念場を迎えつつあります。

- 少子化・グローバル化により18歳人口の減少と競合大学の拡大が進展し、大学間競争はかつてなく激化しています。
- 大学のユニバーサル化により学生の持つ能力・背景は多様化し、画一的な教育では対応が困難になっています。
- 一方、今後10年程度は18歳人口がほぼ横ばいと予測されており、その後に備えた大胆な対策を採る最後のチャンスと言えます。

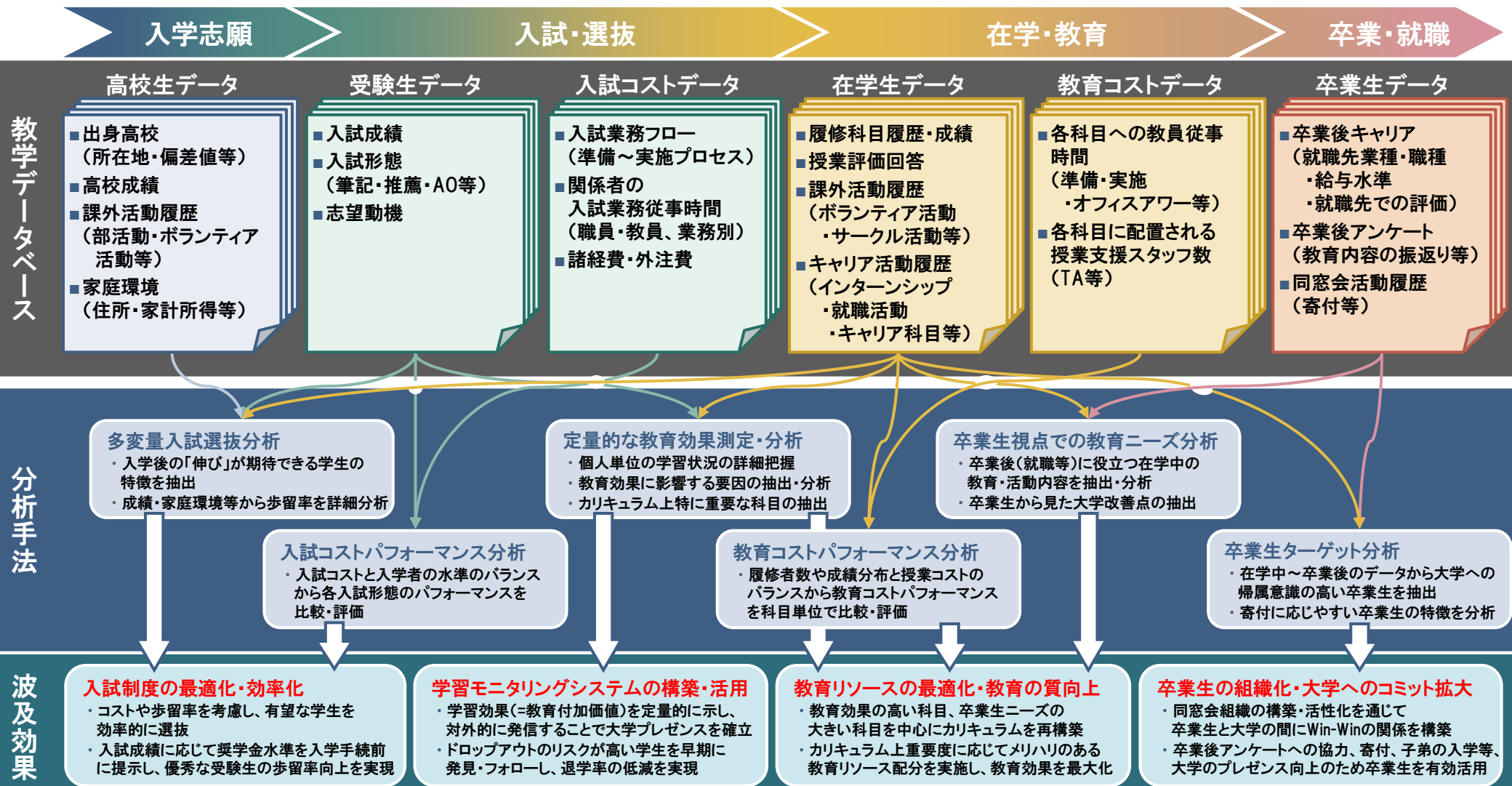
貴学のプレゼンス・競争力を向上するには、あらゆるリソースを総動員する必要があります。

- 「ヒト・モノ・カネ」に関する「情報」は、それ自体が極めて貴重なリソースとなり得ます。
- 貴学のプレゼンス・競争力を高めるため、各部局に分散した「情報」を統合・活用し、その価値を最大化することが不可欠です。



# 教学関連データの活用スキーム(全体像)

▶ **入学前～学生～卒業生の個人データを統合・活用する事で、教学のあらゆる側面を支援**



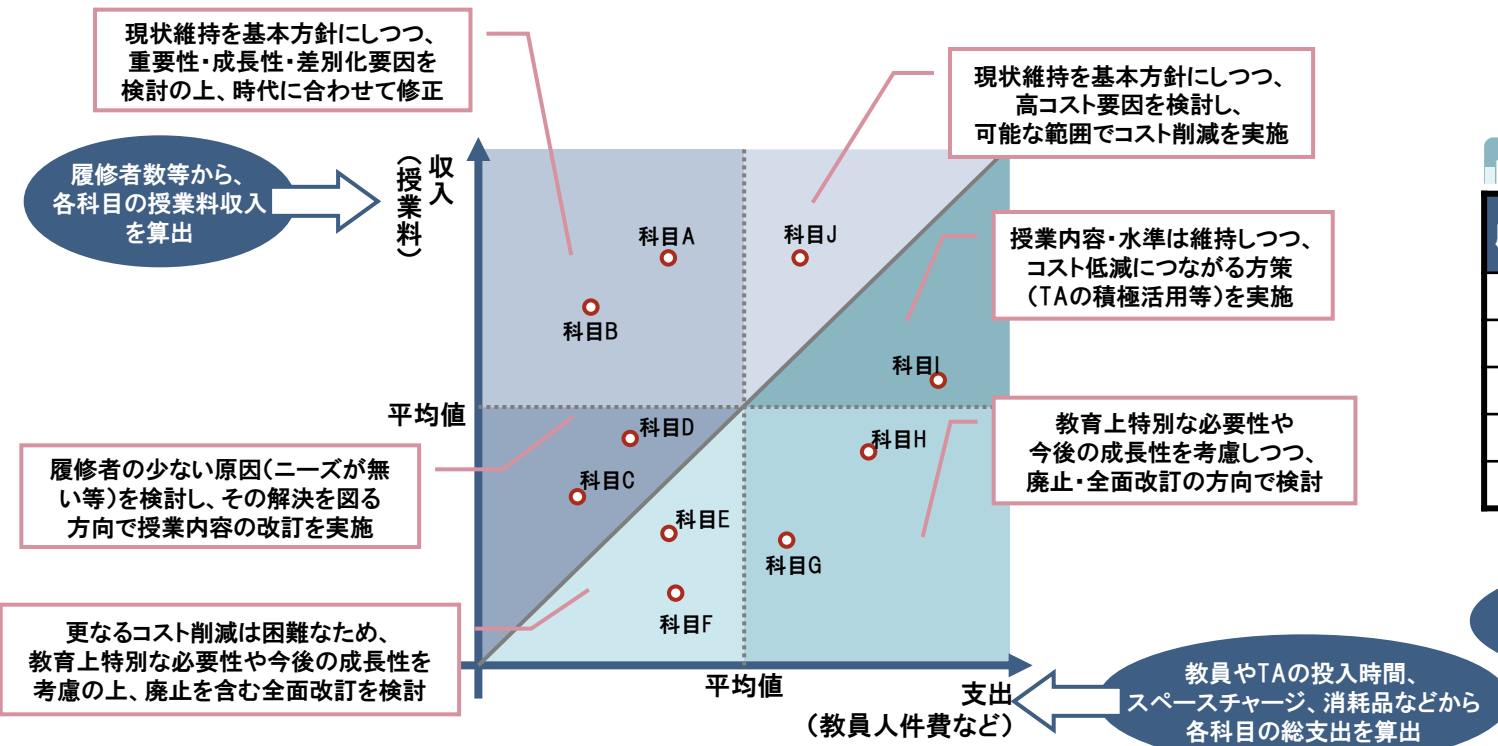
# 具体的な分析事例 — 教育コストパフォーマンス分析 —

▶ **教育のコストパフォーマンスを可視化し、カリキュラム改善や合理的な奨学金水準決定を支援**

科目単位で収入・支出を算出し、教育予算の効率的な配分を実現します。

- 科目毎の収支構造に基づいて、大学経営の観点から、より効率的なカリキュラムの構築や戦略的なリソース配分を提案します。  
(例:「科目A, Bの利益を、科目Hの改善に充てる」等)
- これまでの履修科目や成績に基づいて、教育コストを学生単位に算出・予測し、コストに応じた奨学金水準を決定します。

## 科目単位で教育の収支構造を分析



## 学生単位で教育コストを推計

成績が良いほど教育に手間(コスト)をかける必要がないと想定し、成績に応じてコストを配分

太郎君の教育コスト

履修科目	平均コスト	成績 (GPA)	加重コスト
科目A	●●円	B	▲▲円
科目E	●●円	A	▲▲円
科目H	●●円	B	▲▲円
科目I	●●円	C	▲▲円
科目J	●●円	A	▲▲円

卒業までに必要な教育コストを算出・予測し、学納金とコストがバランスするように奨学金水準を決定